

あなたの今日が、だれかの明日に。ハタチの献血

「はたちの献血」

キャンペーンが始まります!

▶ 問合せ 保健センター
☎ 72-2500

厚生労働省、都道府県及び日本赤十字社は、献血者が減少しがちな冬季において血液製剤の安定供給を確保するため、4年1月1日から2月28日の2か月間、新たに成人を迎える「はたち」の若者を中心として広く献血に関する理解と協力を呼びかけるものです。

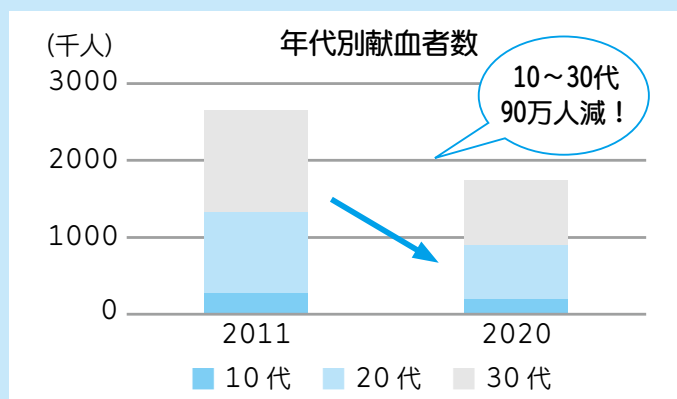
Q 献血って、なあに？

A 病気の治療や手術などで輸血や血漿^{けっしょう}分画製剤^{ぶんかくせいざい}を必要としている患者さんのために、健康な人が自らの血液を無償で提供するボランティアです。

Q どうして、献血が必要なの？

A 輸血に使用する血液は、まだ人工的に造ることができず、長期保存することもできません。

若年層(10～30代)の献血協力者数が減少しています



日本国内では、少子高齢化等の影響により、主に輸血を必要とする高齢者層が増加し、若い世代が減少しています。

10～30代の献血協力者数はこの10年間で34% (2011年：約264万人→2020年：約174万人の約90万人)も減少しており、少子高齢化が今後ますます進んでいくと、血液の安定供給に支障をきたす恐れがあります。今後も患者さんに血液を安定的に届けるためには、今まで以上に若い世代の献血へのご理解とご協力が必要となります。

■献血実施場所

献血ルームは
こちら



献血バスは
こちら



大型ショッピングセンター等でも実施しております。見かけた際には、ぜひご協力お願いします。なお、現在、町では新型コロナウイルス感染症の影響により、献血協力企業、および役場職員を対象にした献血を実施しております。



はたちの献血
キャンペーンサイト

上記サイトより、詳しいキャンペーン概要、献血が行える年齢や、事前予約方法等、献血についての知識を深めて、ぜひご協力ください。